

韓国留学を終えて

情報文化学科 2年 高橋来未

はじめに

私は8月31日から12月26日の4ヶ月間、ソウル市にあるキョンヒ大学で留学してきました。私が韓国に留学してみたいと思ったのは、先輩から留学についての話を聞かせてもらったことがきっかけでした。大学で韓国語を勉強したり韓国のテレビ番組を見たりしているうちに、もっと韓国の文化に触れてみたい、大好きな韓国で暮らしてみたいと考え留学を決めました。大学でまだ初級しか勉強していないのに本当にソウルで生活ができるのかと不安もありましたが、大好きなソウルで生活できる楽しさと期待でいっぱいでした。



大学での授業



はじめの3週間は短期で留学に来ている人たちに混ざっての授業でした。私のクラスは15人のクラスだったのですが、国情生が私を含め3人と残りの12人も全て日本人でした。さらに担当の先生も日本語ができる先生だったので、分からない事があっても日本語で教えてくれたので、楽しく勉強が出来ました。短期のクラスが終わり、新しいクラスには様々な国からの留学生がいて年齢もバラバラでした。結婚していて子供がいる人や、何か国も語学留学に行っている人、ワーキングホリデーで来ている人など様々でした。私はクラスの中で2番目に年下だったということもあり、みんなと上手くやっていけるかすごく心配でした。しかし休み時間に話をしたり、お昼ご飯と一緒に食べたりして少しずつ仲良くなっていきま

した。授業はもちろん全て韓国語で行われ、両隣の席には外国からの留学生が座っていて緊張しましたが、先生方が分かりやすく楽しく丁寧に教えてくれたので、授業が嫌だと感じたことはありませんでした。また、すごく仲のいいクラスだったので雰囲気もよく、楽しく勉強することができました。1泊2日の現地学習もありました。夜遅くまでゲームをしたり、早起きして日の出を見たり、ますますクラスのみんなの距離が縮んで行きました。月曜日から木曜日は国情生だけでの午後の授業がありました。韓国の文化、映画、歌、ゼ

ミナールの授業を曜日ごとにやりました。テコンドーを教わったり、伝統的な遊びをしたり、ミュージカルを見に行ったりとたくさんの貴重な体験ができました。ゼミナールでは、日韓の違いについて一人ずつまとめ、発表をしました。日本語でも発表するのは難しいのに韓国語での発表はかなり難しくとても緊張しました。最後の2週間はTOPICの勉強もしました。テストのような雰囲気の時もあり、毎日眠気と戦いながら頑張りました。

私たちには留学生生活をサポートしてくださったスンミン先生とかずえ先生がいました。なにか困ったことがあったらすぐに解決してくれました。それなのに私たちは先生を怒らせてしまったこともありました。たくさん迷惑をかけてしまいましたが、先生方がいてくれたおかげで無事に留学生活を送ることができたのですごく感謝しています。



日常生活

私たちは学校から歩いて15分くらいのところにある寄宿舎に住んでいました。学校からは少し遠かったですが、駅がすごく近かったので生活しやすい場所でした。私のルームメイトはタイからの留学生でした。ソウルでの留学生活も長く、私より7歳も年上だったのですごく親切にしてくれました。私が英語を話せなかったので私たちの共通言語は韓国語でした。そのおかげで韓国語を使う機会が増え、お互いの文化の違いに戸惑うということもなく毎日いい刺激を受けながら生活することができました。

放課後や休日は美味しい食堂を探したり、安くて可愛い服屋さんを何件も回ったり、観光地に行って写真を撮るたくさん撮ったりとほとんど外に出ていました。大学の先生方とは違い早口で話しかけられるので、はじめの頃はお店のおじさんとの会話もドキドキしていました。食堂に行っても注文のやり方が分からなかったり、メニューに写真がないお店では名前を見ただけではどんな食べ物なのかが分からず、予想外の食べ物がでてきた事もありました。それもいい経験になりましたし、その度にもっと勉強を頑張ろうと思えました。駅の近くということもあり、寄宿舎の目の前には屋台がたくさんありました。屋台



には安くて美味しい食べ物がたくさんあって、店員さんもすごく親切だったのでよく食べに行きました。また、ソウルは新潟と比べられないほど交通の便がよく、安い値段で地下鉄やバスに乗れるので色々な所に行きました。地下鉄やバスに乗っていると韓国人の特徴がたくさん見られるのでそれも楽しみでした。お店の数もたくさんあり歩いているだけでも面白かったので、行きは歩いて帰りは地下鉄で帰るということも多かったです。私はこの留学生活でひとつだけ後悔していることがあります。それはもっとたくさん写真を撮ればよかったという後悔です。ソウルに着いたばかりの時はとにかく周りのものや人の写真を撮っていました。自分ではたくさん写真を撮っていたつもりですが、生活にも少しずつ慣れてくると写真を撮る回数が減っていきました。毎日日記を書いていたのでそれを見れば様々な出来事を思い出すことができますが、そこに写真が残っていればもっと良かったなあと感じます。せっかく楽しいことをたくさんしたのにもったいなかったなと思います。ですが、留学前はあそこに行きたい、あれをやりたい、と行きたいところややりたいことたくさんありました。そのほとんどのことを実現できたので本当に有意義な留学生活になりました。

友達・トウミ

クラスの友達とは毎日のように遊んでいました。平日はクラスのみんなでほぼ毎日お昼ご飯を食べに行き、午後の授業が終わってからも夜ご飯を食べに行きました。放課後にチキンとコーラを買って紅葉を見ながらパーティーをしたのもいい思



い出です。テストが近かったこともあり、なるべく授業で習った文法を使うように話しながら食べました。間違っているところを教え合ったり、テストに出る問題を予想したりしたおかげで、クラスの平均点がすこし高くなりました。せっかく韓国にいるのだから韓国っぽい所に行こうと、南怡島という冬のソナタのロケ地にも行きました。ドラマの有名なシーンの同じ場所で同じポーズをして写真を撮りました。私たちは出会ったばかりでまだ少しぎこちなかったのですが、地下鉄やタクシーの中で話をたくさんして南怡島に着く頃にはぎこちなさはなくなっていました。美味しいご飯を食べ楽しく南怡島を観光したあと、近くにあったレールバイクに乗りました。虫がたくさんいて服にくっついたりしましたが、自然の中をレールバイクで通り抜けるのは気持ち良かったです。朝に駅で集合したとき交通費、食事代、南怡島の入場料、

レールバイクの料金として1人30000ウォンずつ幹事をしてくれた友達に払いました。帰りの地下鉄の中で確認すると、少し余っていました。約3000円で1日遊べるなんて、とみんなで驚いたのを覚えています。一緒に買い物や観光をしたり、誕生日やクリスマスにはパーティーをしたり、友達の家でガールズトークをして盛り上がったりと、たのしい思い出をたくさん作ってくれました。一緒に過ごした時間は長い時間ではありませんが、嫌なことがあった時も友達がいてくれたからいつも笑顔で楽しく過ごすことができました。帰国してしばらく経ちますが、毎日のように連絡を取り合っています。これからも連絡を取り続け、必ずまたみんなと再会したいです。



トウミは2歳年上のヨンジュンさんという人でした。ヨンジュンさんは特待生として日本に留学に行けるくらい日本語がペラペラで、さらに英語もペラペラでした。はじめは、ヨンジュンさんに甘えてしまい日本語で話すことも少なくありませんでした。しかしこのままではダメだと思い、トウミといるときは日本語を使わないようにしようと決めました。私は自分の韓国語に自信がなかったのですが、ヨンジュンさんがいつも褒めてくれたので自信を持って韓国語で会話ができるようになりました。トウミ制度は私にとってはすごくありがたい制度でした。美味しい食堂や、大学では習わないような若者言葉を教えてくれてすごく嬉しかったです。ソウルの代表的な観光地に行く約束をしたのですが、なかなか時間があわずに行けなかったことが残念でした。ですが、次はヨンジュンさんが日本に留学に来るみたいなので、その時また会えたらいいなと思います。

最後に

留学を終えて言えることは、留学して本当によかったということです。少しでも留学を試みたいという考えがあるなら行った方がいいと、先生方が留学を勧める気持ちがよくわかりました。留學生活では、韓国語の上達はもちろんですが他にもたくさんのことを学ぶことができました。自分はすごく幸せな環境にいるということに気付くことができました。自分の好きなことをさせてもらえているというのが、いかに幸せなことなのか気付くことができたというのが私の留學生活でいちばんの収穫でした。物事を前向きに考えられるようになりましたし、なにより周りの人に対して感謝をするようになりました。そのことを気づかせてくれたのは友達でした。年上の友達が多かったおかげか、友達から学ぶことがたくさんありました。留學先でできた友達は一生の友達になると言いますが、私はまさにその友達に出会うことができたと思っています。文化の違いに戸惑ってしまう事もありました。韓国語では言いたいことが伝わらずに苦労した時もありました。それでもなんとか理解し合おうと私たちはたくさん話をし、いろんなことを一緒に経験しました。

留学生生活をこんなにも楽しく、有意義に過ごせたのも友達がいてくれたおかげです。本当に感謝しています。

そして、留学は簡単にできることではありません。私の意見を尊重し、反対もせずに韓国留学に行かせてくれた家族に本当に感謝しています。

この4ヶ月間、私と出会い関わってくれたみんなに本当に感謝しています。

